

数学

北海道大学 総合入試【文系】、学部入試【文・教育・法・経済・医（保健・看護・作業）】

<全体分析>

試験時間	90分	解答問題数	4題
------	-----	-------	----

解答形式

全問記述形式

分量・難易（前年比較）

分量（減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加）

難易（易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化）

若干やりにくい設問もあるが、全体としては大きな変化はない。

出題の特徴

今年も理系との共通・類似問題（**3**）が出題された。

その他トピックス（入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など）

2年連続で「相加平均・相乗平均の不等式」を用いる問題が出題された。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度
1	図形と方程式	数学Ⅱ	直交する2直線と放物線を考える問題だが、途中の計算がやや面倒である。	標準
2	三角関数 2次関数	数学Ⅱ 数学Ⅰ	指定された置き換えをして、求めた2次関数のグラフをかいて考える。 θ の範囲が狭いので少しやりにくい。	標準
3	確率 整数	数学A 数学A	さいころの目の最大公約数を考えるため「整数」の知識も必要であるが、それほど難しくはないので最後までがんばりたい。	標準
4	微分法・積分法	数学Ⅱ	2つの放物線と共通接線の問題。典型問題なので計算ミスには気をつけたい。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

図形問題として「図形と方程式」の問題が出題されたのは久しぶりであるが、「確率」と「微分法・積分法」は、ほぼ毎年出題されているので、北大文系の問題としての大きな変化はない。『計算量が多い』という傾向も変わらないから、標準レベルの問題演習を中心に対策をし、入試直前期は過去問演習を忘れずにやっておきたい。